

乳幼児のための食育研修 開催要綱

趣旨 乳幼児期の食事は、子どもが成長するために重要な役割を果たすとともに、心身の成長にも大きな影響を与えます。

子どもの発達段階にそった食育の進め方や食物アレルギーに関する知識と対応について理解を深め、保育所等における食育の意義や役割を考えることを目的に開催します。

研修のポイント！

多様な「食育」のあり方を考えます

食事の重要性や偏食への対応など、保育者に求められる知識や保護者に対する食育支援の働きかけ方について考えます。

緊急時の対応について学びます

給食・離乳食の提供時においてアレルギー症状が出た場合の具体的な対応について学びます。

他の保育園等の取り組みを知ることができます

食物アレルギーに対応したメニューづくりや食育計画を基にした食育実践に取り組んでいる他の保育園等の活動をご紹介します。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

保育所保育士等、児童福祉施設・母子生活支援施設職員等、各施設の栄養士および調理員等

※研修内容は乳児～未就学児の食育を中心としています。

※具体的な調理方法を習得する目的ではありません。

配信期間

令和7年 5月12日（月）～ 6月30日（月）

申込期間

令和7年 3月10日（月）～ 4月 8日（火）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和7年 4月14日（月）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	<p>講義 1 「乳幼児期の食を通じた子育て支援」</p> <p>堤 ちはる 氏 相模女子大学栄養科学部 健康栄養学科 特任教授</p>	<p>乳幼児期の食生活は、心と体の健全な育成、味覚や食嗜好、将来の食習慣の基礎形成など、その後の発達につながる大切なものです。</p> <p>保育士・保育教諭・調理員（師）・栄養士等の職員全員が主体的に食育に関わることで、「食」の悩みを抱えている保護者に対し、食事の重要性を伝えるとともに、食育を通して効果的な子育て支援につながることも学びます。</p>
約 60 分	<p>講義 2 「偏食（好き嫌い）の原因と寄り添い方」</p> <p>伴 亜紀 氏 株式会社Graine 代表／栄養士 ／大阪総合保育大学 乳児保育学科 非常勤講師</p>	<p>食事は、子ども一人ひとりによって好みや意欲が異なるため、偏食による「好き嫌い」があっても、それを個性として認めることから食育が始まります。</p> <p>ここでは、保育者がどのように偏食や好き嫌いに対応すればよいのか考えるとともに、保護者とのコミュニケーションを図りながら、子ども一人ひとりに寄り添った食事指導について考えます。</p>
約 90 分	<p>講義 3 「食物アレルギーの正しい理解と緊急時の対応」</p> <p>吉木 美恵 氏 社会福祉法人花山福祉会 幼保連携型 花山認定こども園 看護師</p>	<p>保育所等が提供する食事は、食物アレルギーのある子どもを含め、一人ひとりの健康状態や発育状況に合わせた対応が必要です。</p> <p>ここでは、給食・離乳食の提供時においてアレルギー症状が出た場合の対応や、緊急時における正しいエピペン®の取扱い方など、食物アレルギーへの対応について学びます。</p>
約 20 分	<p>実践報告 1</p> <p>石垣 宗慎 氏 社会福祉法人札幌晃学会 幌北中央保育園 調理師</p>	<p>食育実践に取り組んでいる保育所等から、先進的な活動や意欲的な活動内容について、報告いただきます。</p>
約 20 分	<p>実践報告 2</p> <p>高澤 緑 氏 株式会社あしたばマインド 明日葉保育園 長津田園 栄養士 (神奈川県横浜市)</p>	

※本研修は、令和6年度に実施した「乳幼児のための食育研修」と同内容です。